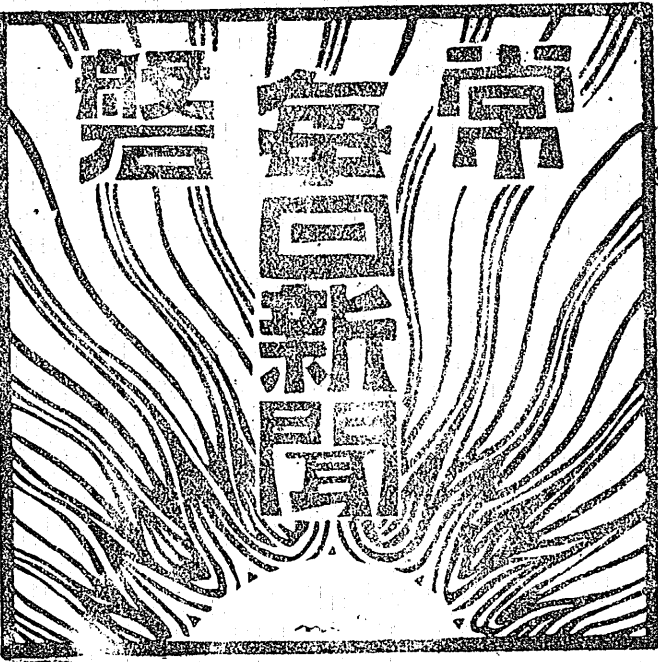


日刊 印刷 編輯人 川崎文治 本社 同香地 (電話三三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所



刊夕日七十月一十

定一部金貳錢 一月五錢 三月十錢 半年二十錢 一年四十錢 廣告 五字一錢 十字二錢 二十字三錢 五十字五錢 一百字十錢 印刷 每日新聞社 發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

御婚禮支度三井



三井吳服店

弊店は常に良品本位東都今冬の流行品を豊富に取り揃へてあります別して御婚禮支度には特に力を入れました是非御用命下さい

江戶襦、丸帯、錦紗小紋、御召、繪羽織
訪問着、秩父夜具、銘仙、各種

事務所

松ヶ岡公園内(電話二二〇番)

主催者 尼子亭 吉田直之助
會計監督 山崎清三
會計員 志賀盛榮
贊助員 平澤長 豐崎治
後援 磐城新聞社 磐城時報社 磐城毎日新聞社

伊勢參宮 京都紫宸殿拜觀 奈良巡拜 遊覽團體募集

會期 明春二月二十日
會費 二十九圓五十錢
但し 申込と同時に金五圓を納入し 残額は二月迄五回に分納の事
人員 二百名の豫定
申込 事務所 尼子亭
通信班及び救護班を設く

即刻申込まれよ!!

募集期間中と雖も満員の際は締切り候 (詳細は事務所に問合され度)

「オチヲ」の

御用は 平野前高野自轉車店 ラヂオ部へ御用命を
三球式(附屬品一切付)
A 金百十圓也
B 金八十五圓也
C 金七十圓也
一球式(レシバー付)
A 蓄電池 金卅三圓也
B 乾電池 金卅三圓也
ラヂオ製作、部分品、取付工事其他
高野自轉車店ラヂオ部
平野前(電話三三六番)
仙台放送局指定加入申込取扱所

夫婦

◇當る十六日より上映◇
松竹下加茂特作品
島原美少年録
美男市川松之助熱演
◎本年度浦田超特作
主演……栗島すみ子

一人と一人……永遠の愛と信頼とに依つて結ばれた一人と一人……世界中のたつた一人と一人……それが夫婦である
◎日活傑作品
明暗道中師
鳥羽陽之助主演
連日満員御禮
料金 普通 平館

十六日替り上映

◇再度輸入の黄金篇公開◇
◆ユニナイラットアーチス
會社超特作品
リリアンギンシュ嬢主演
東への道 全十卷
大帝キネ特作
明石緑郎誕生第一回作品
時代捕物正? 邪?
奇譚 譚正? 邪?
千草香子、阪東豊昇助演
◆マキノオムロ特作
片岡千恵藏主演
三日大名 八卷
河上君江、天野刃一、松尾文人、大谷萬六助演
十六日ヨリ畫有ます
料金特 有聲座
に普通

看護婦派出所の求めに應ず
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

平町追憶 (七)

島田忠夫

寄書

町から見た鎌田山に、夜々狐火が燃わたりしたのも、今から十数年の昔に過ぎない。城山の稻荷社に白狐がなんぞが棲み、供へる油湯を食べると信じてゐるのは、數年前には必ずしも藝者や料亭の女將ばかりでなかつた。今の釣鐘堂の傍に磐城女學校があり、今の水道部の地に裁判所があつたのも、さう古い事ではな

耳鼻咽喉科専門

場所 (舊診療所裏通り)

合津醫院

平町仲田町(電話五五九)

警城セメント會社特約店

久全屋商店

△良品廉賣も勝る商畧なし△
▽確實敏捷は釜屋の生命なり△
警城平町五丁目 電話九番 一三九番

御大禮記念セイコー抽籤特賣

賞品總額拾壹萬參千圓
一等 壹百圓 (債券) 五十本
二等 五十圓 同 五十本
三等 二十圓 同 五十本
四等 十圓 同 五十本
五等 五圓 同 五十本
セイコー製優美時計壹個
一本も空籤なし

國民の擧つて奉祝する御大禮は近づきました。此の曠古の御盛儀を記念するために國産セイコー腕時計の抽籤特賣を發表致します。永く保存が出来御使用に便利な絶好の記念品として御薦め致します。

大谷時計病院

平町三丁目(電話一九番)

美味……大量……時節柄……安値
御試食の上……御判談を。

出前迅速……一品配達歡迎

大塚豚肉問屋……直營

カフェー 幸樂

豚肉年中無休販賣 平町六丁目電話五三九

に流れてゐないと言へやうか。

い。當時はいまの町の堂々たる市街と、銀行會社と、學校と、役場とを夢にも思はなかつたかも知れない。殊に町を一巡して驚くのは大きな病院と醫院に恵まれてゐる事である。就もこれに必ずしも町民の幸福のシンボルとは云へないかも知れぬ。しかしその素晴らしい文化を思はずには居れぬ。磐城炭田の好景氣時代の副産物とも見られて平町の文化、それは新時代の文化ではあるまい。一步街を歩き側々の店舗を見るとき、東京も博馬町邊りの問屋町に流れるあの古典的な空氣さうしたものが平町の店舗を。

正月、盆、出産、死亡、慶事、法事、その度ごとに金品の贈答を極めて尊大に厳格に行はれる平町、いまもつて各人生活の幾パーセントをこの大時代的な交際費へてから苦しみ町人、これだけでも平町の文化の、どの邊を歩んでゐるか、解るではないか。この唯物主義の平町を試みに半歩郊外に踏出して見給へ。南町の真新川邊に建つ、言謂別荘住宅を。あのいかめしい支那北部の古城のやうに、厚い石垣を廻らした家を。

奉祝！唯感激

昨日平町の賜饌の儀

ラツパの吹奏起り職員最敬禮 萬歳の聲場を壓す

地方賜饌の儀が行はせられた十六日は演通りは朝まだきより曇り勝ちであつたが晴れの御召しに参集する光榮の人々は午前八時ころより警城中學校賜饌場を目がけて自動車或は腕車で陸海軍の正装或は燕尾モーニング等の服装綺羅びやかに参集受け締切の十一時半迄には十九名の事故不参者を除いて全部出席設けの控へ室に休憩して開場をまつた正午十分前伏見平町長佐藤助役等に案内され入場着席宮中席次により正三位子爵内藤政潔氏正面に近い第一の席に着くや場の一隅より劉曉たる喇叭の吹奏起り職員最敬禮をなし賜饌係長たる佐瀬農務課長は大禮服の装ひ美々しく正座に起り咳一咳徐に

御禮執奏の詞

右今日の御禮に就ては宮内大臣に執奏方一同に代り手續き取計はんとす各位の之れを諒せられん事を望む

饗セシ光榮者

平町在住者にして昨日地方賜饌のお召を受けられた光榮者左記の如くである

- 町長伏見彦衛、小學校長曾我直治、同佐藤一、縣議員野崎滿藏、三等獸醫西内牧造、退職検事新妻誠一、同永野柳造、判事中山谷吉、三等軍醫根本莊次郎、同野崎清才、步兵少尉酒井猶次、休職判事佐々木綱記、歩兵大尉佐川少、海軍船匠特務少尉國玉喜四郎、三等主計草野順平、判事千葉公賢、歩兵少尉殿木鐵治、判事高橋涉、檢事武田清次郎、警務技師岡保、歩兵中尉花澤文庫、同少尉藤井一、檢事三笠義孝、歩兵少尉松本幸平、工兵少尉丸山喜一郎、二

御大典

一萩原タケ子

御大典よなきよき日の喜びを千草の花にこめて壽な

- 山林技師花澤五五六、元郡長水野虎三郎、元山林事務官補松浦昌、元特志看護婦長渡邊チカ、元陸地測量技師江尻豊、元郡長青沼録太郎、機庫庫長鈴木宗吉、驛長豊崎治助、郵便局長田村彦四郎、警察署長猪狩清、警務技師大貫茂、刑務支所長坪野松三郎、通信書記萩山清吉、同葉館正、裁判書記片岡燕、稅務署屬工藤眞雄、同宮城徳九、同阿部糸次郎、同上田猛男、同細目皎、同橋永隆榮、同高橋山壽、同金山英松、三等局長加納五郎、同中野勇吉、專賣局技師額賀廣次、鐵道局書記中澤光彌、同杉山清光、同阿部清藏、同打越俊、同猪狩

等主計吉田喬二、判事山本光太郎、砲兵少尉山崎清三、歩兵少尉四家久米治、砲兵少尉梅原幸助、退職判事漆畑元吉、司稅官岡部耕一、同藤田三郎、同小野耕一、同藤田榮助、衛生技師羽岡平三、警中教諭梅森榮、農林主事尾形治右衛門、警女教諭酒井英吉、同只野清、警中校長唐土齊治、同教諭野野三郎、同遠藤平太、同梶原富次、同廣田德行、同小野寛美、同山崎光雄、同山崎寅吉、農林技師神尾潔、警女校長木村寅三、同教諭中川完一、砲兵大佐山内武夫、工兵上等工長小泉英次、元

觀徳、同入野龍之助、同石井秀雄、同山口學、同長谷金三郎、同床宿重之、同鈴木倉次郎、同技師野崎三吉、同根岸五十三、同庄子吉光、同鈴木末吉、同鈴木四郎、同志賀多、同志賀多之助、同坂場範三郎、同金子定次、同神山政一、同五味洲庄次郎、同玉木兼次郎、同高橋胞次郎、同塚本保、同高橋角藏、同富田享、同橋本津鶴次郎、同武藤喜一、同山崎倉五郎、同和見勤次郎、同宇都幾太郎、同小田貞美、同小野朝光、同小川勇彌、同坂銀治、同相川鶴吉、同坂島清一、同相川島久壽、警女教諭川島磯惣太、平商教諭武川信夫、平第一訓導中野日廣次、平商教諭中村政、警中同根本源壽、警女同佐々木クマ、同鈴木應善、同内村理、同吉松茂夫、同山崎忠二、同日野良太郎、同七岐昇、同田中金三郎、同佐藤清、同中教諭須藤忠二、同下山田三郎、同齊藤竹松、同近藤眞記、同河野秀吉、同菅野眞雄、同五來要人、同高田玄三二、同豊口欽哉、同橋本芳太郎、同星野清一郎、同廣木富之介、同山口重男、同吉田泰雄、同渡邊恒夫、同大久保治男、同大橋秀冬、同荒川惣兵衛、平商教諭服部甲同宮澤勝三、同高野秀松、農林技師安島八郎、道路技師藤原三、衛生技師佐瀬恒夫、平第二訓導長谷川政、同赤津千里、紺綬褒賞受領山崎與三郎、鐵道手坂場利、同金子金治、同伊達頼政、同三浦卯之介、同伊藤秋之助、同上野鐵之助、同及川榮三郎、褒賞受領諸橋久太郎、三等軍醫と田耕作、佩有勲章特別社員鷹崎貞衛、同酒井秀次郎、同諸橋國松、同百澤易興、内務大臣選

獎應崎チヨ、私立學校長酒井ミヨ、同大和田豊吉、愛國婦人會特別徽章水野ハナ、同諸橋タニ、(順序不同)

平町長其他 光榮を分つ

賜饌直後に 伏見平町長は地方賜饌にお召しになつた光榮を町民に分つため十六日午後二時より商業學校に町議名譽職其他三百餘名を招いて報告し御下賜の御料理と御菓子を分つて奉祝宴會を開き又石城郡駐在尾形産業主事、神尾農會技師、鈴木農會技師(陸軍歩兵少尉)安島穀物検査所長の四氏も同様午後一時半から關係者を招き舊郡役所に奉祝宴會を開いた

警城製糸工場 愈々土盛着手

二月頃に完成 片倉警城製糸工場創立事務所では同工場敷地七千坪の稻刈入も済んだので二十日頃より土盛工事に着手する筈で明春二月頃には大体の完成を告げると

平町農會開く

平町にては縣主催改良農具實演會及び園藝共進會に對する協賛の方法に關し本日前午十時から町會を開いた

基督奉祝講演

平町南町裡日本基督平教會にては十八日午後七時十五分からは大興奉祝記念大講演會を開き哲學博士フアウスト氏、神學士萩原信行氏の講演ある筈

- 永年勤続した警察官を來る十九日表彰することになつたが廿五日勤続として知事から表彰される平署員左の如くである
- 巡查部長 青田保太
- 同 七海寅十
- 同 長谷場省一
- 同 宇南山敬三
- 同 蛭田一郎
- 同 江島寛

入營軍人 歡送

廿七日に開催 平町にては廿七日午前十一時より縣社子鐵會神社々前に於て入營軍人歡送會を催す由にて會費四十錢である

傾城トンネルは 自然亀裂と鑑定

安田技師一行調査結果

常磐線湯本緩行間傾城トンネルの亀裂問題に關し所轄仙台鐵道監督局では東鐵當局の依頼を受け安田技師その他技術員數名が再度現場に出張爾來慎重に調査研究を重ねて居つたがその結果今回の龜裂は地盤又はトンネルの自然的龜裂で現場を鐵道とする入山炭礦の採掘によるものではないこと明白となりこの程東鐵局に向け右の事情を詳細回答するところであつたがこれで半歳

農家へ注意

農家の秋の收穫は殆ど終了したがその後の行事に於てとかく手違ひが生じやすいので神谷農事試験分場では左の如き注意書を各郡市農會に宛配布し一般農家に對する注意方申達した

▽米の調製に際しては小石碎米等の混入に注意すべし▽紫雲英の秋期灌水は十一月月上旬並に十二月上旬の二回に行ふをよこす、前者は雨核の豫防後者は寒害豫防▽水田の秋耕は土壌の常に日光少なき低部の耕起につとむべし但し深耕の際は反當り十貫匁位の石灰を施すこと肝要なり▽麥の土入分量は飼五六分の厚さとなすべし▽飼育中の綿羊は本月中に賣却すべし▽作物は如何に優良品なるとも連年同一地區に栽培するときは品質惡退化するもの故時々更新の要あり稻に於て三年更新の要あるはこれがためなり▽苗床用土は無疾の土より採取すべし而して堆肥木灰等を混じて充分

篤行者表彰

石城郡内郷村では御大典に際し今回村内の教育功勞者三名自治功勞者村長、助役村會議員二十九名、孝子節婦各一名、精農者五名、義僕三名、模範軍人四名、模範青年模範消防士四名、勤続坑夫三十七名に銀盃木杯を贈り表彰した

勤績者表彰

平署の六氏 本縣では御大典記念として